

こんにちは 日本共産党県議団です

新型コロナ変異株スクリーニング 全数検査の実施を



党県議団が知事に申し入れ

党県議団は6月11日に6月県議会にむけた知事への申し入れを行いました。申し入れは、①新型コロナの変異株スクリーニング全数検査の実施②ワクチン接種について医師・看護師などの確保、正確な情報提供③コロナ禍での中小零細企業へ県独自の支援金④生理用品を県立学校のトイレに無償設置し、市町村の対応への支援⑤自然災害から営農を守るため、農業共済や収入保険加入者の負担軽減のための支援策の検討⑥里親制度のも

とで、養育先での性的・身体的虐待の事件に対し県の対応を検証し改善策を示す⑦国道20号諏訪バイパス建設計画の環境アセスへの対応についての7項目の実施を求めました。



建設していない森林作業道や、不十分な森林整備で補助金を得たとし、県は大北森林組合に対し補助金の返還請求（8億8千万円、33年間）をしています。今回大北森林組合が経営計画や補助金等返還計画

大北森林組合補助金の不正受給問題

の見直しを決定したため、県が受当性を精査しています。見直された計画では、製材やチップ加工事業の取扱額が16倍化、森林整備事業が2.7倍化、全体でも1.9倍化するものであり、その根拠、実現性・確実

性について県の見解をただしました。補助金が返還されない場合は新たな県民負担となりかねないため、県がしっかり精査し、その結果について県民に公表するよう求めました。

第1期で統合された総合技術
第1期で統合された総合技術
第1期で統合された総合技術

の見直しを決定したため、県が受当性を精査しています。見直された計画では、製材やチップ加工事業の取扱額が16倍化、森林整備事業が2.7倍化、全体でも1.9倍化するものであり、その根拠、実現性・確実

高校の再編計画に不安の声

高校改革第2次再編整備計画（案）が3月に発表され、再編案の旧第2通学区（中野須坂）では中野総合学科新高と須坂新高創設、旧第8通学区（上伊那郡）では上伊那総合技術新高、赤穂総合学科新高、全日制普通科、多部制・単位制高校などへ大幅な再編を進める方向です。

術学校などでは教員の多忙、予算や設備の不足、広範囲な地域からの通学など、高校現場や地域から不安の声が上がっています。地域説明会や懇話会で、保護者・教育関係者、地域の声をしっかり反映した改革とするよう党県議が一般質問で求めました。

県は、個人住宅の屋根に太陽光パネルを設置する場合も、費用を補助することになりました。県議会6月定例会で、5億4800万円の事業費を含む予算案が可決しました。党県議団が長年、要望していたものです。補助内容は、居住用住宅に太陽光発電システム（10kW未満）と蓄電池（4kW以上）を同時に

党県議団が長年にわたり要望

設置する場合に20万円、蓄電池のみ設置する場合は15万円。県内に本店を置く中小事業者の施工が対象です。党県議団は「再生可能エネルギーが環境を守り、新たな産業、雇用の場の創出になる」と強調し、約6割の自治体で実施している補助事業と併用ができるよう求めました。

個人住宅屋根への太陽光パネルの設置に補助が実現

地滑りが発生し現地調査へ

長野市篠ノ井山布施・小松原で7月6日早朝に地すべりが発生し国道19号線が全面通行止めになりました。

10日、武田良介参院議員、県議団、長野市議団で県砂防課・土尻川砂防事務所から状況説明を受け、地元地区の地域委員会などと懇談しご要望を伺いました。国道19号の早期開通と県管理道路の改良工事、小学生の通学路の安全確保など対策を進めていきます。

